



チーフストラテジスト 瀧山裕二の Weekly Letter

第51回「IMF 世界経済見通し 2025年1月」

IMF（国際通貨基金）は3か月に1度「世界経済見通し」を改訂しその結果を公表します。
今週のウィークリーレターでは、1月17日に改定された「世界経済見通し」についてお伝えします。

～世界経済の成長率予測～

発表になった「世界経済見通し 改訂版」の内容を確認しましょう。
裏面表1をご覧ください。この表は今回の見通しを抜粋したものです。

世界経済全体の成長率予測は2025年、2026年ともに3.3%となりました。前回10月時点の予測と比べて25年は0.1%ポイント（Pt）の上方修正、26年は変わらずとなっています。前回の見通しとほぼ同じであった要因は、経済成長が堅調な米国が上方修正される一方、他の主要国が下方修正されたためです。なお、今回の見通しでは、この報告書公表時点で実施されている政策を前提にしており、1月20日に発足した第2次トランプ政権の政策については考慮されていません。

～主要国・地域の経済成長予測～

では、主要国・地域の成長率予測を見てみましょう。まず、米国ですが、25年の成長率は2.7%、26年の成長率は2.1%と予測されています。前回の予測と比べて25年が0.5%Pt上方修正、26年が0.1%Pt上方修正されています。24年からは若干成長率は低下するものの、今年の成長率が大きく上方修正されたのは、米国での強い資産効果と金融引き締めの緩和、良好な金融環境を反映しているためです。

一方、ユーロ圏の成長率予測は、2025年は1.0%、26年は1.4%と予測されています。前回予測と比べて25年は▲0.2%Pt下方修正（▲はマイナス）、26年は▲0.1%Pt下方修正されました。今年の方修正の要因は、ロシアのウクライナ侵攻が継続しており、地政学的緊張が引き続き市場センチメントを圧迫することや、昨年末にかけて製造業の勢いが予想を下回ったこと、また右翼政党の伸長など政治・政策の不確実性が高まっていることなどが挙げられます。来年については、政策金利の引き下げによる金融環境の緩和や政治・政策面の不確実性の後退などを見込み成長率は上向く予測となっています。

日本経済については、25年1.1%成長、26年0.8%成長を予測しています。前回予測と比べて25年、26年の予測成長率は変わっていません。昨年、成長率の足を引っ張った自動車関連業種の停滞が解消される想定となっています。

中国経済については、25年4.6%成長、26年4.5%成長と予測しています。前回予測と比べて、25年が+0.1%Pt、26年が+0.4%Pt上方修正されました。昨年11月に発表された財政政策が、不動産市場の低迷による景気への悪影響を相殺するとの見通しや来年にかけて貿易政策の不確実性が薄れること、退職年齢の引き上げによって労働供給の減少が抑えられることなどを要因として上方修正されました。

インド経済については、25年、26年とも+6.5%成長を予測しています。インド経済は堅調に推移すると想定し、前回予測と変えていません。

ブラジル経済については、25年2.2%成長、26年2.2%成長と予測しています。前回と比べて25年は変わらず、26年は▲0.1%Ptの下方修正となりました。昨年、成長率（3.7%に0.7%Pt上方修正）が大きく伸びたため、来年以降の経済成長を慎重に考えているようです。今回の見通しの中で、IMFは第2次トランプ政権の減税などの財政緩和策の影響について述べています。

以下その部分の抜粋ですが、『短期的には経済活動を押し上げ世界経済の成長にわずかなプラスの波及効果をもたらす可能性がある一方、長期的には財政政策の調整が必要になる可能性があり、米国債の世界的な安全資産としての地位を揺るがし、金融市場や経済を混乱させる恐れがある』としています。今後の米国の政策については、マイナス面にも注目していかなければならないと警鐘を鳴らしていることには注意が必要であると考えます。これからもIMFの「世界経済見通し」に注目して参ります。

表 1

世界経済見通し(WEO)による成長率予測 (%)			
地域・国名	2024年(推計)	2025年(予測)	2026年(予測)
世界	3.2(0.0)	3.3(+0.1)	3.3(0.0)
先進国・地域	1.7(-0.1)	1.9(+0.1)	1.8(0.0)
米国	2.8(0.0)	2.7(+0.5)	2.1(+0.1)
ユーロ圏	0.8(0.0)	1.0(-0.2)	1.4(-0.1)
日本	-0.2(-0.5)	1.1(0.0)	0.8(0.0)
新興市場国・発展途上国	4.2(0.0)	4.2(0.0)	4.3(+0.1)
中国	4.8 (0.0)	4.6(+0.1)	4.5(+0.4)
インド	6.5(-0.5)	6.5(0.0)	6.5(0.0)
ブラジル	3.7(+0.7)	2.2(0.0)	2.2(-0.1)

(注)インドについてはデータと予測が財政年度ベース(4月～翌年3月)で表示

※2025、2026年は予測値。
 カッコ内は前回(2024年10月)からの改定幅 (%ポイント)
 (国際通貨基金「世界経済見通し改訂版」2025年1月参照)